

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

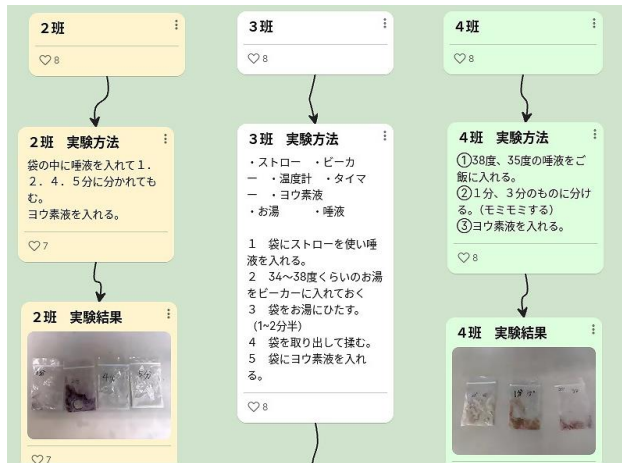
教育委員会	鎌ヶ谷市教育委員会
-------	------------------

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：鎌ヶ谷市立北部小学校）

「理科の授業で、児童自らが考えた実験計画を実践し、その過程を全体で共有」

本実践では、班ごとに異なる実験計画で進めるため、準備や進度、結果に差が出てしまい、授業のまとめや結果の集約が難しい。そこで、右図のように全体で共有したところ、下記のメリットがあった。

- ・準備すべき実験器具、安全上配慮が必要な作業や班ごとの進捗状況を教師が把握することができた。
- ・児童が他の班と比較し、検証方法を広げ、考察を深めることができた。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：鎌ヶ谷市立第四中学校）

「社会科の授業で、班4人で同時に共同編集」

アジアの単元のまとめとして、班ごとに学習内容を1つのシートに表現し、発表した。共同編集によって作成したことで、下記のメリットがあった。

- ・教師が事前に発表項目を提示し、学習内容のポイントを全体で再確認できた。
- ・短時間でまとめることができた。
(本実践では中学1年生が2時間)
- ・作成中に、他班の内容を確認しながら進め、生徒の発想を広げることができた。
- ・班ごとに、生徒の個性が発揮された作品ができた。

